

伊予銀行のあゆみ

| | | | |
|-------|--|-------|---|
| 1878年 | 第二十九国立銀行設立 第五十二国立銀行設立 | | 担保附社債受託業務の営業免許取得 |
| 1896 | 今治商業銀行設立 | 1987年 | 「いよぎん金融情報サービス」取扱開始 総預金2兆円達成 |
| 1934 | 豫州銀行設立（第二十九、八幡浜商業、大洲銀行合併） | 1988 | 関連会社 いよぎん地域経済研究センター、 いよぎんモーゲージサービス、いよぎんディーシーカードをそれぞれ設立 |
| 1937 | 松山五十二銀行設立（五十二、仲田銀行合併） | 1989 | 初の海外支店 ニューヨーク支店開設 香港駐在員事務所開所 関連会社いよぎんスタッフサービス設立 |
| 1941 | 伊豫合同銀行設立（今治商業、松山五十二、豫州銀行合併） | 1990 | CI導入（企業理念の再構築、行名表示・シンボルデザインの変更） |
| 1944 | 伊豫相互貯蓄銀行を合併（貯蓄銀行業務兼営） | 1991 | 東邦相互銀行の救済合併を発表 |
| 1951 | 伊豫銀行と改称 | 1992 | 初の海外現地法人伊予財務（香港）有限公司開設 東邦相互銀行を合併 伊予銀行地域文化活動助成制度スタート |
| 1952 | 大阪支店開設 本店新築落成 | 1993 | いよぎん三番町ビル完成 伊予銀行日本橋ビル完成 |
| 1954 | 東京支店開設 | 1994 | 上海駐在員事務所開所 |
| 1960 | 外国為替公認銀行となる | 1995 | 本店西別館完成 |
| 1963 | 預金1,000億円達成 松山市の指定金融機関となる | 1996 | 関連会社いよぎん資産管理設立 香港支店開設 山西研修所完成 |
| 1964 | 愛媛県の指定金融機関となる | 1998 | 川之石支店（第二十九国立銀行跡地）、 松山保養所（第五十二国立銀行跡地）に創業120周年記念碑建立 |
| 1968 | 体育センター竣工 本店別館新築落成 電子計算機導入 | 1999 | 富士貯蓄信用組合を吸収合併 |
| 1969 | 当行株式会社大阪証券取引所第2部に上場 | 2002 | 愛媛大学・松山大学に寄付講座を開講 |
| 1970 | 当行株式会社大阪証券取引所第1部に指定替え | 2003 | 今治支店新築 |
| 1971 | 当行株式を東京証券取引所第1部に上場 | 2007 | コンビニATMサービス開始 湊町支店で休日営業開始 |
| 1973 | 四国初のCDを本店営業部に設置 総預金5,000億円達成 海外コルレス業務開始 | 2009 | 本店南別館完成 |
| 1974 | 関連会社伊豫銀総合リース（現いよぎんリース）設立 | 2010 | 「いよぎん保険ブラザ」営業開始 |
| 1975 | 関連会社伊豫コンピュータサービス（現いよぎんコンピュータサービス）設立 | 2011 | 株主優待制度導入 |
| 1976 | 財団法人伊豫銀行社会福祉基金設立 | 2012 | 関連会社いよぎん証券設立 シンガポール駐在員事務所開所 総預金5兆円達成 インターネット支店開設 |
| 1978 | 関連会社伊豫信用保証（現いよぎん保証）設立 総預金1兆円達成。事務センター竣工 | 2013 | 単元株式数を1,000株から100株に変更 |
| 1979 | 関連会社伊豫銀ビジネスサービス（現いよぎんビジネスサービス）設立 | 2014 | 執行役員制度導入 |
| 1981 | SWIFT（国際銀行間データ通信システム）稼働 | 2015 | 監査等委員会設置会社へ移行 |
| 1982 | 金売買業務開始 シンジケートローン（対外協調融資）に初参加 | 2016 | 「四国アライアンス」締結 シンガポール支店開設 |
| 1983 | 国債の窓口販売開始 「いよぎんバンクカード」発売開始 新情報サービス「IBNS」スタートレファームバンキング開始 | | |
| 1984 | TQC（全社品質管理）導入 4行（庫）CD提携「ふるさと共同サービス」開始 | | |
| 1985 | ロンドン駐在員事務所開所 公共債のディーリング業務開始 関連会社伊豫銀キャピタル（現いよぎんキャピタル）設立 | | |
| 1986 | ニューヨーク駐在員事務所開所 関連会社伊豫銀投資顧問設立 | | |